



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年7月24日

上場会社名 KOA株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 6999 URL http://www.koanet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 花形 忠男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理イニシアティブ (氏名) 深野 香代子 TEL 0265-70-7171
 トップマネジメント
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,912	11.2	533	36.9	785	88.8	524	112.0
25年3月期第1四半期	9,812	△8.8	389	△61.3	415	△58.7	247	△59.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,377百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 117百万円 (△79.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	14.29	—
25年3月期第1四半期	6.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	60,479	48,978	80.9	1,333.27
25年3月期	59,218	47,968	80.9	1,305.86

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 48,902百万円 25年3月期 47,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期（予想）	—	10.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日（平成25年7月24日）公表いたしました「平成26年3月期第2四半期連結累計期間業績予想および第2四半期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期第2四半期（累計）の連結業績予想（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	22,000	13.3	1,300	89.7	1,700	135.3	1,200	162.4	32.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年3月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第2四半期（累計）の業績予想のみを開示しております。詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	40,479,724株	25年3月期	40,479,724株
26年3月期1Q	3,800,932株	25年3月期	3,800,848株
26年3月期1Q	36,678,836株	25年3月期1Q	36,679,117株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、第2四半期の決算発表時（10月）に第3四半期の業績予想を、第3四半期の決算発表時（来年1月）に通期の業績予想を発表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年6月30日）の世界経済は、米国では堅調な民間需要を背景に緩やかな回復基調が続く一方、欧州では底打ちの兆しが見られるものの引き続き緩やかに後退し、アジアでも中国を中心に成長のペースが鈍化してきました。また、我が国経済は、為替の円高是正が進み、企業の生産が持ち直し個人消費が増加するなど、景気は緩やかな回復傾向で推移しました。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、日本の自動車向け需要は好調な米国向けに加え日中関係の影響を受けていた中国向けが持ち直したことから、昨年後半の落ち込みから回復基調となり、欧米の自動車向けは引き続き好調を維持しました。一方、PC関連や液晶テレビ向け等では低迷が続き、全般的には低調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは品質・信頼性を重視する市場を中心に、高付加価値製品の拡販等の活動を進めた結果、為替の円安による効果もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,912百万円（前年同期比1,100百万円増、11.2%増）となりました。

利益面におきましては、前述の売上高増加に加え、引き続きコストダウンに努めてまいりましたことにより、営業利益は533百万円（前年同期比143百万円増、36.9%増）、経常利益は785百万円（前年同期比369百万円増、88.8%増）、四半期純利益は524百万円（前年同期比276百万円増、112.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は60,479百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,261百万円増加いたしました。主な要因としましては、現金及び預金等の増加によるものであります。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ251百万円増加いたしました。主な要因としましては、支払手形及び買掛金等の増加によるものであります。以上の結果、自己資本比率は80.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フロー1,052百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー△930百万円、財務活動によるキャッシュ・フロー△339百万円となり、現金及び現金同等物の期末残高は12,820百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、全体としては緩やかな景気回復が見られるものの、欧州の債務問題、米国の財政政策の先行き不透明感、中国経済の減速傾向等により、世界景気の先行きの不確実性は引き続き大きいものと考えられます。

当社グループの属する電子部品業界におきましても、次期の受注動向に対しては慎重な見方が必要であります。収益面においても、原材料・原油価格の上昇や為替変動等の懸念材料があります。

その結果、第2四半期連結累計期間の業績予想を以下の通りといたしました。なお、為替レートは、1米ドル＝100円を想定しております。

(第2四半期連結累計期間業績予想)

売上高	22,000百万円
営業利益	1,300百万円
経常利益	1,700百万円
四半期純利益	1,200百万円

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
法人税の計上基準 法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,283	13,636
受取手形及び売掛金	11,500	11,904
有価証券	2,473	1,103
たな卸資産	4,885	4,686
その他	1,203	1,174
流動資産合計	32,345	32,505
固定資産		
有形固定資産	20,391	21,431
無形固定資産	417	449
投資その他の資産	6,063	6,092
固定資産合計	26,872	27,973
資産合計	59,218	60,479
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,739	4,050
短期借入金	446	439
その他	3,657	3,546
流動負債合計	7,843	8,036
固定負債		
退職給付引当金	1,218	1,209
その他	2,187	2,254
固定負債合計	3,405	3,464
負債合計	11,249	11,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,033	6,033
資本剰余金	9,012	9,012
利益剰余金	37,430	37,587
自己株式	△2,655	△2,655
株主資本合計	49,820	49,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	444	547
為替換算調整勘定	△2,368	△1,622
その他の包括利益累計額合計	△1,923	△1,075
少数株主持分	71	76
純資産合計	47,968	48,978
負債純資産合計	59,218	60,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,812	10,912
売上原価	7,462	8,132
売上総利益	2,350	2,779
販売費及び一般管理費	1,961	2,246
営業利益	389	533
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	14	14
為替差益	—	151
その他	75	127
営業外収益合計	101	302
営業外費用		
支払利息	7	6
その他	67	44
営業外費用合計	74	50
経常利益	415	785
特別利益		
固定資産売却益	1	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産処分損	2	0
その他	3	—
特別損失合計	6	0
税金等調整前四半期純利益	411	787
法人税等	163	260
少数株主損益調整前四半期純利益	248	526
少数株主利益	0	2
四半期純利益	247	524

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	248	526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	102
為替換算調整勘定	△56	722
持分法適用会社に対する持分相当額	25	26
その他の包括利益合計	△130	850
四半期包括利益	117	1,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119	1,371
少数株主に係る四半期包括利益	△2	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	411	787
減価償却費	403	479
売上債権の増減額 (△は増加)	△229	△96
たな卸資産の増減額 (△は増加)	80	371
仕入債務の増減額 (△は減少)	87	△57
その他	△445	△215
小計	308	1,268
法人税等の支払額	△215	△287
その他	16	71
営業活動によるキャッシュ・フロー	109	1,052
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,049	△1,053
その他	△303	122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,353	△930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△67	47
配当金の支払額	△348	△347
その他	△74	△39
財務活動によるキャッシュ・フロー	△490	△339
現金及び現金同等物に係る換算差額	△122	296
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,856	79
現金及び現金同等物の期首残高	14,937	12,741
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,080	12,820

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。